

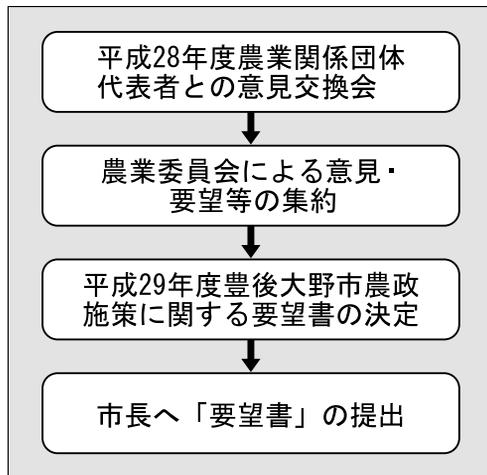
## 農業者団体代表者との意見交換会を開催



農業委員会では昨年9月16日、「農業関係団体代表者との意見交換会」を開催しました。

この「意見交換会」は、「農業委員会等に関する法律」の規定に基づき、市に対する農政施策に関する「要望」を行うため、農業の最前線で活躍されている方々の的確で建設的な意見・要望等を事前に集約することを目的としています。

今回は、認定農業者、集落営農法人、農業後継者、新規就農者、女性農業団体、生産部会、和牛生産に関する7団体の代表者と主催者である農業委員会の代表者が出席し、活発で建設的な意見交換会が行われました。



### 農業者団体代表者からの主な意見内容

#### (1) 新農業者協議会

- ◇ 次世代を担う農業後継者・新規就農者への支援をしてほしい。
- ◇ 空き農地若しくは空きそうな農地の情報が分かるものを作ってほしい。

#### (2) 認定農業者連絡協議会

- ◇ 今、頑張っている人（認定農業者）に重点的な補助をしてほしい。
- ◇ 土地利用型農業に対する支援を強化してほしい。
- ◇ 耕作放棄地対策、また連作障害対策のため利用権設定手続きを簡略化してほしい。
- ◇ 新規就農者が長く経営できるような支援をしてほしい。
- ◇ 市の後継者確保対策事業は対象になる人が少ないので、年齢制限をなくしてほしい。
- ◇ 今の集落を維持するための対策を検討してもらいたい。
- ◇ 遊休農地を増やさないため、条件不利地を継続して耕作する対策をしてほしい。

#### (3) 集落営農法人連絡協議会

- ◇ 増加する耕作放棄地にどのような対策をとっていくのか。
- ◇ 転作補助金を受給できないところが多すぎる。

#### (4) おおいたA F F女性ネットワーク

- ◇ 地権者に対して中間管理事業の周知の方法を検討してほしい。
- ◇ 事業を活用するためにも相続登記などの要件の緩和を国や県に要望してほしい。

#### (5) J A 豊後大野市和牛振興会

- ◇ 畜産の後継者を確保するため、畜産に就業する者に対して、畜産農家での研修制度を設けたり、近い将来廃業を検討している農家との経営継承など、畜産独自の支援を検討してほしい。